

企業の魅力発信支援事業委託業務プロポーザル審査委員会における審査基準

審査の項目	審査の視点		配点
	事業目的と現状認識	本県事業者の実情を踏まえ、事業の目的を十分理解したうえでの提案となっているか。	10
企画の内容	求人広告セミナー	参加者が自社の魅力と求める人材像を明確にし、効果的な求人広告の作成に取り組むことのできる効果的な内容となっているか。	70
		テーマと内容に合った適切な講師が選定されているか。	
	PR動画作成セミナー	参加者がPR動画作成の必要性や効果を理解できる内容となっているか。	
		テーマと内容に合った適切な講師が選定されているか。	
		受講後、参加者が実際にPR動画作成に取り組むことができる実践的な内容となっているか。	
	オンライン面接セミナー	参加者がオンライン面接の必要性や効果を理解できる内容となっているか。	
		テーマと内容に合った適切な講師が選定されているか。	
受講後、参加者が実際にオンライン面接に取り組むことができる実践的な内容となっているか。			
	セミナーの効果を上げる工夫	各セミナーの内容が相互に関連し、複数のセミナーを受講することで相乗効果が得られるような内容・実施方法となっているか。	
専門家派遣による個別支援	県内事業者のニーズやレベルに応じて、人材確保に関する情報発信能力を高めるために効果的で適切な指導、助言ができる専門家を派遣することができるか。		30
	支援回数目標を達成するための工夫や取組があるか。		
	個別支援の効果を高めるための仕組みや工夫があるか。		
広報	セミナーや個別支援を必要とする県内事業者に的確に情報を届け、申込みを促す効果的な周知方法が提案されているか。		10
類似業務実績	類似の業務実績があり、今回の業務に活かすことができるか。		10
実施体制・スケジュール	業務を円滑に実施できる体制が整っているか。		15
	具体的かつ効果的なスケジュールとなっているか。		
経費	企画提案内容に対し、適切に積算し、実施可能な金額となっているか。		5